

令和4年度 立川市立第九小学校 授業改善推進プラン

学校教育目標	○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子
--------	--------------------------------

身に付けさせたい力	目指す授業
基礎的な知識と技能及び、自分で考え行動する力	<ul style="list-style-type: none"> ・どの子にもわかる授業の工夫 ・学習に対する関心、意欲の向上

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取り組み（学習活動など）
国語	○答えの根拠となる叙述を明確にしながらかえ、人物の気持ちの変化を場面の繋がりで考えたり、人物の行動や会話文から人物像をとらえたりすることができるようにする。 ○本文を読んだ後、もっと知りたい、なぜと思えるところを見付け、自ら「読みたい」という関心・意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の立場や考えの根拠が明確になるように、日頃から重要な文章や言葉を示しながら話をしたり、読んだりする機会を多く取り入れる。 ・中心となる言葉や叙述に注目して読むように視点を与え、書き手の意図にまで気付けるようにする。
社会	○社会における課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことを適切に表現したりできるようにする。 ○社会的な事象について理解を深めるとともに、社会生活へ生かそうとする意欲をもち、主体的に学習問題の解決をできるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料を活用しながら学習ができるよう、図書館やタブレット PC を活用して情報の収集やまとめなどが行えるように指導する。また、分かったことや考えたことを発表し合い、クラス全体で共有し、友達の意見から新たな気づきを付け加えたり、修正したりできるようにする。 ・自分の生活と関連付けて考えられるような導入を工夫する。また振り返りでは学習内容を身近なものとして深められるようにする。
算数	○基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、理由を考えながら立式、計算したり、それを説明したりできるようにする。 ○日常の事象を、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力を身に付ける。 ○数学的活動の楽しさやよさに気づき、学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする態度を育る。	<ul style="list-style-type: none"> ・原理原則を理解し活用できるようにするために、それらが成り立つ理由やそれらを活用することのよさなどについて考える時間を設ける。 ・本時の学習のねらいとなる部分を明らかにする場面を丁寧に扱う。既習事項を確認する時間を適宜設けたり、学習を通して得られた知識・技能を活用して発展的な課題を解決したりするような学習計画を立てる。 ・児童一人一人が主体的に授業に参加できるように、具体的な事象を用いた文章題を提示したり、タブレット PC で視覚的に分かりやすい教材を共有したりする授業を行う。
理科	○自然の事物・現象について理解し、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ○観察、実験などを行い、問題解決する力を養う。 ○自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察などを通して、児童一人一人の理科への興味・関心を向上させ、知識及び技能の習得に配慮したワークシートを活用する。 ・学習内容が日常生活に結びつくように予想の時間を十分に取って、自分の力で考え、表現する力を伸ばす。 ・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説、観察結果の学級全体での共有する場面を増やすことで問題解決能力を高めていく。

生活	<p>○出来事や友達、身近な人への興味・関心を高める。</p> <p>○様々な人と交流したり観察したりするなど、積極的な態度を養う。</p> <p>○予想や気付いたことを観察カードに記録できる思考力や表現力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことの中から「考えたこと、気付いたこと」を伝え合う活動を多く取り入れていく。 ・社会および自然に対する児童の思い・願いや課題を大切にしたい、意欲的な活動を取り入れ積極的な態度を養っていく。 ・観察カードの書き方や、まとめ方の指導の機会を増やしていく。
音楽	<p>○曲想と歌詞の内容を理解し、根拠を基に自分の思いや意図をもち、表現や鑑賞に生かす力を高める。</p> <p>○主体的・協働的に表現や鑑賞の活動に取り組む態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の学習をバランスよく組み、学んだことを生かして思考力や判断力、表現力の向上を図る。 ・友達と関わり合いながら学習できる雰囲気を大切に、スモールステップで学習を進める。
図画 工 作	<p>○自ら発想し、表し方を工夫して創造的に作品を作ったり、表したりする力を高める。</p> <p>○作りだす喜びを味わい、自己肯定感を高めながら楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に表現するために必要な、基本的な技能をしっかり身に付けるためのゆとりある時間の確保と系統的な単元計画をたてる。 ・作品を丁寧に制作し、完成に向けて一人一人を支援するとともに、振り返りやまとめを通して自己肯定感をたかめる。
家庭	<p>○調理や裁縫に関する基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。</p> <p>○自分の生活を見直し、改善点を見付け、主体的に改善しようとする力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間で基本的な技術を段階的に繰り返し学習することができるように支援員の導入や、家庭で自主的にできる課題の設定などを進める。 ・家庭との連携を積極的に行うことにより、一人一人が生活をよりよくする視点で学習が進められるようにする。
体育	<p>○苦手な領域や技に対して友達の動きから学んだり、得意なものについてポイントを伝えたりすることを通して、自分の技量にあった場を考えられる力を身に付ける。</p> <p>○体を動かすことの楽しさや大切さに気づき、友達と一緒に活動したり、苦手なことに積極的に挑戦したりしようとする態度を養う。</p> <p>○敏捷性を高める取り組みを増やし、バランスの取れた体力の向上を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守り、誰とでも仲良く運動するために、順番を守ることの大切さや互いの違いを認める場面を設定する。 ・体育の授業では、自己やグループが取り組む運動について振り返る場面を設ける。 ・計画的に体づくり運動や器械運動などバランスよく取り入れ、体力や技能の向上を図る。 ・全校での「にこにこジャンプ」(大なわとび) 取り組みを一層充実させていく。発達段階に応じた運動量の確保とともに、自己のめあてを明確にしなが自主的に運動に取り組める機会を増やしていく。
外国語	<p>○英語に親しみ、自分の思いや考えを英語で伝えようとする態度を育てる。</p> <p>○自分の考えや思いを積極的に英語で話したり、書いたりすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動のねらいに応じた、英語の歌やジェスチャークイズ等、アクティビティを多く取り入れ、楽しみながら英語の発音を聞いたり発音したりする。 ・単元で使う単語や表現を声に出して繰り返し練習したり、自分の思いや考えを伝えるときの伝え方をあらかじめ例示したりすることで、どの児童もアクティビティに参加できるようにする。 ・書く活動を多く取り入れ、4線の上に正しくアルファベットが書けるように、なぞり書きや写し書きを取り入れる。

くわのみ学級：授業改善推進プラン

教科	教科・学習で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取り組み(学習活動など)
日常生活	○児童の実態に合わせ、具体的な場面を提示してコミュニケーション等の学習意欲や生活意欲を高める	・1日の見通しをもてるように諸活動に向けた意欲を高めるための朝の会や1日の振り返り、取組の成果を共有するための帰りの会を行う。
国語	○日常生活に必要な国語について、理解し使う力を身に付ける。 ○日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を基にした思考力や想像力を養う。 ○言葉で伝え合う良さを感じるとともに、言語感覚を養うことで国語を大切にしていける気持ちを高める。	・語彙力を高める授業、プリントを用いた反復練習を行う。 ・短時間のスピーチなど、日々の出来事について、5W1Hを意識して伝え合う時間を多く設定する。 ・考えたことを言葉で書く活動を行う。児童の実態により記入欄を大きくしたり、文字数を少なくしたり、ICT機器の活用をしたりする。
算数	○「わかった」、「できた」を感じ、主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ○日常生活において必要な、数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質を身に付ける。	・問題数の少ないプリントから取り組ませ、できたことを称賛していく。個人の習得段階によるプリントを作成する。 ・お金の計算や重さや長さなど数と計算領域の学習では、具体物による操作活動を多く取り入れる。
音楽	○曲の特徴にふさわしい器楽・鑑賞表現を工夫し、思いや意図をもって表現する能力を養う。 ○動画の鑑賞や友達の演奏を通して、良さを見出し、全体を味わって集中して聞く力を高める。	・身体表現を多く取り入れたり、和太鼓、ハンドベルなどの演奏でリズムを楽しんだりすることで表現力を高める。 ・楽曲に親しみやすくするために映像教材を積極的に取り入れ、様々な楽曲に触れる機会を増やす。
図画工作	○絵画作品では、作品についての説明や感想を、自主的に人に伝えることで主体性を育む。 ○作業工程をスモールステップで取り組み、達成感を味わうことで、自信をもって取り組む力を高める。 ○手本や手順を示し、視覚的に理解できる力をつける。	・絵画作品では、何を描いたか分かりづらいものでも質問をせず称賛し、本人から話させることで主体性を伸ばしていく。 ・一つ一つの工程を短くシンプルにすることで、できあがったことへの自信や達成感を数多く体験させる。 ・手本や手順を視覚的に示して見通しをもたせるようにする。
体育	○なわとび、ランニング、リズム運動を継続的に取り入れ、様々な動きを体験させてそれぞれの動きの感覚統合を図り、運動能力を高める。	・運動遊びや単純なゲームを取り入れ、楽しみながら運動に取り組めるようにする。 ・運動の中にたくさんの遊びの要素を入れ、自然に反復練習ができるようにする。
生活単元	○学校(学級)行事や季節的な行事などいろいろな体験を通して、先生や友達とふれあい、コミュニケーションの力を高める。 ○植物などに関心を持ち、進んで植えたり世話をしたり収穫をしたりすることによって、自然を大切にしようとする意識を高める。 ○調理や作業の学習を通して手順や段取りを覚え、継続して行うなど自立的な生活に必要な力を身に付ける。	・行事の事前学習を充実させることで意欲を高め、主体的に行事に取り組めるようにする。 ・季節の野菜を一人一つ栽培をしたり、観察カードを書いたりすることで植物への関心を高め、自主的に学習に取り組めるようにする。 ・身の回りの生活と関連させて、歩行訓練や作業が伴う具体的な活動を通して学習させる。
総合的な学習	○理科的・社会的学習、環境学習、交流学習等を通して、自らの関心や意欲を高めながら学び、問題解決していく力を身に付ける。	・児童にとって身近な事象を扱うことで関心を高めさせる。 ・学年交流学习の内容を発達段階や児童の実態を踏まえて吟味し充実させ、主体的に取り組めるようにする。

